人と　つながること

人とつながること。それは、簡単なことではなく、その過程ではたくさんの葛藤がある。ぶつかり、怒り、傷つき、受け止められ…この繰り返しの中で、「心」で人との距離をつかみとりながら、仲間になっていく。その過程で私たちが言葉で「教えられること」は少ない。私たちができることは、気持ちを存分に受け止め、共に考えながら寄り添っていくこと。子どもたちが自らつかみとっていくことを見極めサポートすること。

「自分」も「人」も大切

About Us

子どもたちの「やりたい」を中心にした遊びと共に年間計画に基づいた活動・行事も取り入れています。

自然体験	地域の山・川・海への園外保育
	季節の食べ物採り・加工・畑活動・調理
表現活動	音楽の日（外部講師）　わらべうた　うたづくり
	ナイフ製作（年中・年長）　木工作　絵の具遊び
	自然物を使った工作（木の実・わら・竹など）
	お話しづくり（絵本・指人形・ミュージカル遊び）
伝統行事	七夕　お月見　節分　ひな祭り
社会体験	お店屋さん　お買い物体験　地域交流

対象年齢　3～5歳児
活　動　日　月～金曜日　（祝日他、春夏冬休暇あり）
保育時間　9:30 ～ 15:00（8月は14:00まで、月1回午前降園あり）
（8:45 ～ 9:15・15:00 ～ 16:00 延長保育あり）

森っようちえん事業 認可外保育

森っこえん

連絡先（NPO法人備前プレーパークの会）
〒705-0024　岡山県備前市久々井1390-1
TEL: 080-2925-1215（火～土曜9~17時）

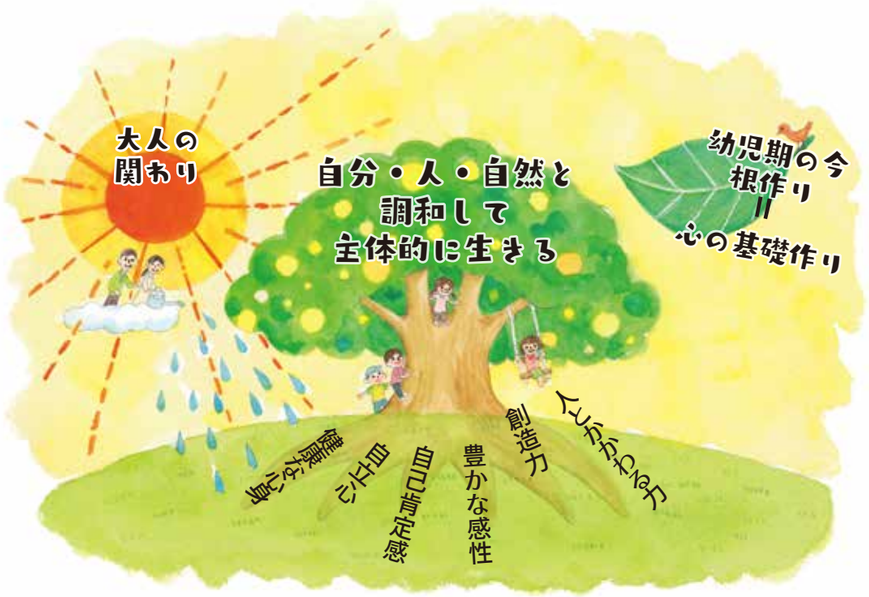
自然は最高の子育てフィールド

今こそ！　人生の土台づくりを

今、様々なことが大きく変化しています
これからは「答えのない時代」とも言われています

よりどころになるのは「自分」
これからを生きる子どもたちには
大地にしっかりと根をはった大木のような
たくましく　しなやかな「自分」を育ててほしいと願います

わたしたちは　豊かな自然とあたたかいまなざしの中で
五感をフルに使いながら　生活し　遊び込むことを通して
生きる力の土台となる心の根っこを育みたい！と考えています



大木を支える丈夫な木の根っこは日常の積みかさねの中でこそ育まれます。
子どもにかかわる大人のまなざし・かかわりを大切に
『自分・人・自然と調和して主体的に生きる力』につながる土台を育みます

自分と向き合う

自分と向き合う

話す・聴く・話し合う

様々なことが大きく変化している今。これから、「自分と向き合うこと」がますます大切になってくると感じる。
自分のうれしい、悲しい、好き、嫌い、快、不快をしっかりと感じる。
そして「自分」はどうしたいかを考える。
子どもたちの日々の生活の中では、様々なことがあり葛藤もおこる。友達とぶつかること、思い通りにいかないこと、不安なこと…。
そんな時、自分の気持ちを感じ、出し、受け止められる。
ゴールに向かうこと、答えを出すことを焦らされるのではなく、心ゆくまでそこに留まり、じっくりと自分と向き合うことを許される。そして安心をベースに自分のタイミングで進んでいく。私たち大人は、その過程こそ、大切にしたい！

自然の中で五感を使い
心と体で感じる

自然を感じる

自然の恵みをいただく
——畑・食べ物・創り出す

子どもたちが自然を「感じている」光景が大好きだ。
自分の大好きな場所で、ただゆったりとそこにいる時間。流れる雲に見入ったり、きらきら光る水面を眺めたり、波の音に聞き入ったり…。
こんな時、教育学者の汐見先生の言葉を思い出す
「子どもの時から自然と深くコミュニケーションしていけば、何かつらいことがあった時も、生きる力を自然からもらえるようになる」
この自然の中で過ぎていく、何でもないような時間こそ自分とつながる貴重な時間。原風景、原体験として刻まれ、自分を支える原動力となる。

興味を原点に遊びこむ
探求する

「やってみたい」を原点に 「今」を生ききる

ただ夢中で「自分」を感じて遊ぶ。
その時間の中に評価は、存在しない。
遊ぶということは「生きている」という実感につながる。

自分を広げ・深める

体験を繰り返す中で試行錯誤し、体得していく過程。
そこに、気づきや感動が生まれ、喜びや面白さへとつながる。
そして意欲へとつながっていく。
その積み重ねは、本質的な学びの土台となる。

森っこえん